

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年12月11日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300641
法人名	有限会社 広優
事業所名	グループホーム 織月の郷
所在地	鹿児島県鹿屋市川西町2483番地 (電話) 0994-42-6667
自己評価作成日	令和元年10月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年11月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「一日一笑」を心がけ、利用者様お一人おひとりのペースに合わせて楽しい雰囲気の中でのんびりと笑顔で生活できるように努めています。利用者様の体調を把握した上で、ドライブや散歩、外出などの気分転換を図り、また職員が働きやすい環境を整えることで利用者様にも良い影響を与えられると思ひ、働きやすい職場を提供できるように努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当ホームは室内が広くゆったりとくつろげる落ち着いた雰囲気がある。掘り炬燵の部屋もある。園庭も広く炊き出しできる釜の設備もあり行事の時は家族も参加し、そば打ちや餅つき等で楽しんでいる。農園もあり収穫祭には、きゅうり・とまと・茄子など、夏野菜を収穫して利用者の笑顔を見ることができる。
- ・町内会に加入し地域の夏祭に参加したり、中学生の職場体験学習やボランティアの受入れをしている。近所の子供達が遊びに来たり、地域住民の声かけや野菜の差し入れもあり、事業所も餅を配ったりして日常的に交流している。
- ・家族と入居者の絆を大切にして、誕生会、家族会、「ひまわり新聞」で連携をとっている。
- ・職員の有資格者が多く勤務年数が長く離職者が少ない。
- ・利用者の楽しみやメリハリのある生活を大切に、毎日の入浴、外出支援、菜園、干し柿・切り干し大根作り、ラジオ体操等を支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	玄関及びトイレに掲示し、パンフレット等にも掲載している。理念についていつでも話し合える環境を作っている。	理念を基にその人らしい暮らしを支援している。ミーティング時に唱和し、ケアを振り返り確認している。トイレ、玄関、パンフレットに掲示し実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	2ヶ月に1回運営推進委員会を設け地域の民生委員の方や町内会長他町内外の皆さんと意見交換をしている。	町内会に加入し、地域の夏祭りや近隣のグループホームの秋祭りに参加している。中学生や専門学生の体験学習の受け入れやボランティアの訪問もある。近所の子供達が遊びに来たり学童の慰問もある。住民からの日常の声掛けや野菜の差し入れ等があり日常的に交流がある。餅を近所に配ったり地域の一員としてお付き合いをしている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	入所希望の電話相談に応じた際や、学生の福祉体験を受け入れた際に認知症の人の理解と協力を求めている。又外に出て行かれる利用者様に付き添い声を掛けてもらえる事で、地域での理解が少しずつ出来ているのではと思われる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>町内会長、民生委員、家族、利用者、行政関係等の幅広い参加を得て、2か月に1回開催している。事業所の活動内容や計画を報告したり、いろいろな情報や意見をもらい、ホームの運営サービスの向上に活かしている。</p>	<p>計画を作成し2ヶ月毎に実施している。市の職員の参加もあり、助言を貰っている。警察や学校にも声かけし、ホームの状況、行事計画、地域の情報、介護保険制度の改正、ヒヤリハット、身体拘束、災害対策、議題の報告や取り組み等、意見交換をしている。災害時の燃料、飲料水の確保に業者と協定書を結んでいる。意見はサービス向上に活かしている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>事故報告書等速やかに報告したり、いつでも電話にて相談し協力関係を築くよう努めている。</p>	<p>市の担当者とは窓口に出向いたり、電話で相談や助言を貰っている。運営推進会議の参加も行政からの情報もある。市主催の研修会やグループホーム連絡協議会には積極的に参加している。生活保護関係の福祉課との連携も密にしている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>ホームの方針として、拘束の無いケアに取り組んでおり、日中は鍵をせずに、安全で自由な生活を楽しめるように支援している。</p>	<p>身体拘束廃止委員会を中心に年に2回以上の研修を開催し、指針の見直しを行い、言葉の拘束も含め勉強会を実施している。日中は玄関の施錠はしていない。外出希望の時は見守りや散歩する等、安心して生活ができるように取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待防止の研修会に積極的に参加し、常に利用者ご本人の意向を第一に考えている。また、職員がストレスを抱えないように、心のケアにも配慮しながら虐待防止に努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>権利擁護に関する研修会に職員が順次に参加し、ミーティングで全職員に報告し共有している。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書や重要事項説明書などは、入所事前に十分説明を行い、理解納得して頂いた後に署名捺印をお願いしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>外部に第三者委員会を定めており、玄関に掲示しているが、意見や要望は殆ど聞かれない。家族は直接管理者や職員に話されており、出された要望や意見は職員間で話し合い、運営に反映している。</p>	<p>利用者からは日常のケアの中で声かけや表情、仕草等で把握している。家族からは行事の時に担当職員が意見や要望を聞いている。猫に触りたいとか、昼寝をさせて欲しい、風呂について等、要望を職員で話し合い運営に反映させている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>代表者や管理者は、いつでも職員が意見や提案を話せる環境づくりに努めており、意見等反映させている。</p>	<p>職員の意見は毎月のミーティングや日常の会話の中で気軽に話し合い把握している。処遇改善の事や風呂に手すりを設置等の意見があり、運営に反映させている。年1回は代表者と職員との個人面談も実施している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>人員基準を満たしたうえで、職員の状況に合わせて臨機応変に勤務交代や希望休に対応して働きやすい職場になっている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業に支障のない範囲で、研修などに参加し、意識改革や質の向上に努めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホームの交流会や研修に参加して、困難事例や分からないこと等、迷ったことがあったら連絡を取り合い、他の事業所の状況等教えてもらい情報交換しながらケアの向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	慣れない環境で不安な利用者様に対し、じっくりと話を傾聴する事で安心感を持ってもらえ、決して焦らずに時間をかけて信頼関係を深めていけるように心がけている。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	入所前に方針を伝え、家族の理解と共感がもらえるよう努め、また、ご家族がいつでも気軽に相談できるような関係を築く事ができ要望等にも耳を傾けられるよう努めている。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	十分なアセスメントを行い、可能な限り、様々な選択肢を提案し、ご本人・ご家族にとって「その時」最も必要としているサービスが提供できるように努めている。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	介護する・されるの関係ではなくて、お互いに助け合って生活するという関係作りに努め、いかなる場合にも感謝の気持ちを忘れないようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の来所を心から歓迎し、ご本人を支えていく為の協力関係を大切にしている。家族の協力は重要であり、双方で生活支援する事の大切さを伝え、家族への感謝も忘れずに支援している。誕生会や家族会等で家族との交流を深めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>それぞれの要望や意向を確認し可能な限り、叶えている。いつでも来て頂けるような雰囲気づくりに努め面会時はゆっくりとくつろげるよう配慮している。</p>	<p>馴染みの関係の地域の知人や近所や同級生の訪問がある。お茶を出して対応している。家族の思いを聞き、個人情報にも配慮して対応している。電話も取次ぎを行っている。馴染みの関係が途切れないように支援に努めている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>孤立しないように仲介や声掛けを行い、利用者同士がそれぞれ関わり合えるよう配慮している。利用者様のハーモニカやオルガンの伴奏に合わせ歌を唄って、わきあいあいの場面も見受けられる。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>行事への参加を呼びかけたり、入院や他の施設へ移られた方への面会も心掛けているが、実際はなかなか思うようにいかない。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常生活での表情や些細な会話の中で、本人の思いや意向を汲み取る事が出来るように努めている。意思疎通が困難な方に対しても日々の様子や表情で思いをくみ取れるよう心がけている。	入所の時に面談して本人、家族から意向を聞いている。日常はケアの中で表情、仕草、声をかけて希望や意向を把握している。困難な場合は、家族に聴いたり表情や仕草で把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者、家族との面談時に、生活歴やこれまでの暮らし方などの情報収集を行い、サービス利用の経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日のバイタルチェック、食事摂取量、排泄状況等を把握し、体調の変化など必ず申し送り、情報共有し現状の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や毎月のミーティング時に利用者個人の変化や思いを全職員で共有し介護計画に反映している。	3ヶ月毎にモニタリングを行い、その都度担当者会を開催し、本人・家族の思いを把握し主治医の意見を入れて、介護計画を作成している。見直しは6ヶ月で行っている。状況に変化があった時は現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人の記録は特別な事があった場合は細かく記録しているが、普段の記録は簡潔にし、利用者とのふれあいを多く持てるように心がけている。連絡帳や業務日誌も活用し、介護計画の見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人・家族の要望に応じて病院受診は職員が対応し、入退院または自宅への送迎も可能にしている。訪問マッサージのサービスを受けている利用者様もいて本人・家族も喜ばれている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>踊りや三味線のボランティアを受け入れ豊かな暮らしを提供できるように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>7名様は在宅支援の往診で、他の方は、本人・家族が信頼しているかかりつけ医の受診を支援している。</p>	<p>かかりつけ医は、在宅時の主治医で連携を取っている。往診の利用者もいる。受診は家族が付き添うこともある。訪問看護も受け入れている。歯科は馴染みの歯科医に家族が同行している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>全職員で体調の変化を常に把握し異常時は早期に適切な治療が出来るよう努めている。かかりつけ医との連携を心がけ看護を受けられる体制を作っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院中も職員による見舞いを行うと共に、病院の相談員と情報交換を行っている。回復状態を詳しく聞く事や、退院時の指導を受ける事で、安心して退院できるような、環境づくりを提供している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に看取りや重度化ケアに関する指針を説明し同意書を頂いており、本人の状況を家族・全職員で話し合い医療機関の協力をもらいながら、常に最良の支援が出来るよう心がけている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり入居時に本人、家族に説明して同意を得ている。重度化に伴い家族・職員で話し合い主治医の意見と家族の意向を確認しながら、特別養護老人ホームや医療機関の入院を視野に入れて、最良の方向で支援している。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>救命救急の講習会に参加し日頃から緊急時に対応できるように心がけている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回の火災訓練を行なっている。非常食は常に常備し、災害に備えたライフラインの燃料備蓄及び飲料水も確保できている。</p>	<p>年に2回火災訓練を行っている。1回は消防署立ち合いで夜間想定であり、1回は自主訓練である。避難誘導、避難経路、避難場所の確認、緊急通報装置の点検を行っている。地域消防団もあり協力体制も整っている。備蓄は水、米、缶づめ等、3日分は用意している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様は人生の大先輩であるという尊敬の念を常に持ち、失敗しても本人のプライドを傷つけないような声掛けや対応を心がけている。	マニュアルを基に勉強会を行っている。トイレ介助の声掛けやドアの開閉、入室のノック等、「自分がされて嫌なことはしない」としている。誇りやプライバシーを損ねない対応をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	表情や行動を観察しながら本人の思いや希望を汲み取れるように心がけ、又自由に思いや希望を決定できるような場面を提供しながら、本人の思いに沿った支援を行うようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	外に出る事が好きな利用者様をドライブに誘ったり、自由に園庭を散歩できるようにしている。本人のペースや体調に合わせて職員も支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	服を自分の好みで選ばれたり、洗面台で日に何度も整髪される人もいる。その人らしいおしゃれが出来るよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行事食には昔からのメニューや季節を感じられるような食材を取り入れ、又誕生会には本人の好きなメニューを準備する事で喜ばれている。梅干し作りや干し大根作り等にも積極的に参加出来る様に支援している。	職員が献立を作成し、畑の旬の野菜を使用している。梅干しや干し柿と一緒に作ったりして楽しんでいる。年末のそば打ち、餅つき、お正月、誕生日、敬老会等に家族が参加したり、行事食も楽しみになっている。外食に行くこともある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分補給は常に心がけている。食べる量が少ない利用者様には一口程のおにぎりや食べやすい状態にして提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの口腔状況を把握し本人に応じた口腔ケアや声掛けを行い、清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンに応じ、声かけや介助を行っている。排泄の失敗があっても、さりげなくシャワーや清拭を行い、自尊心を傷つけないように配慮している。	排泄チェック表で定期的に声かけてトイレでの排泄を支援している。リハビリパンツは使用しないでトイレでの排泄を介助している。介護用品も本人に合わせて配慮している。失禁があった時はさりげなく羞恥心のないように対応している。パット不要になり改善された方もいて自立に向けた支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルトは毎日提供している。野菜や繊維の多い芋を使った料理を摂取する事で便秘予防に努めている。毎日の排便チェックを活用し、把握に努めている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	毎日入浴可能なので、本人の都合でいつでも入浴できる。1対1で話せる貴重な時間なので、ゆっくり接するよう努めている。	毎日入浴ができ職員と1対1で支援している。本人の意思で柔軟に対応している。入浴の時はゆっくり話ができ、思いや意向を把握できるひと時であり、個々に応じた入浴の支援をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いつでも休息できるようにしている。また、入床や起床は無理強い事無く、本人の意思に沿ったケアを支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員がいつでも確認できるように、薬の説明書は個人ファイルに添付してある。服薬の変化に注意して、連絡帳や日々の申し送り情報で共有している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ハーモニカが得意な利用者様に演奏をお願いすると快く吹いて下さり、皆さんの気分転換も図れている。洗濯物たたみやテーブル拭き等率先して手伝って下さる利用者様も多く、役割意識が出来ているように思える。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>建物周辺を散歩される利用者様には、家族の了解を得て、自由に散歩を楽しまれている。また、家族にも協力をもらい、出かけてもらう事も支援している。</p>	<p>日常はその日の天気や体調により、戸外の外気浴や周辺の散歩に出かけている。年間計画を立てて地域の行事や足湯・花見に出かけたり、農園の収穫やドライブ等に出かけている。家族の協力を得ながら遠方にも出かけている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>自由に買い物できるように、所持金を施設で預かっているが、ほとんど一人では、お金を使われる事は無い。買物を頼む利用者様はおられる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>手紙のやり取りは無いが電話はかける利用者様もいて、仲介や取次を快く支援し、見守っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間には、テレビ、ソファが備えてあり、空気清浄器や空調等で快適に過ごせるようにしている。いつでも居心地良くくつろげるよう配慮している。</p>	<p>広々としたゆとりのある空間で、天井が高く木の梁があり温もりがある。空気清浄機が置かれ採光・室温・湿度の管理が適切である。ソファも随所があり、テレビや掘り炬燵・畳の部屋もあり、居心地よく過ごせるように工夫されている。写真や季節の作品などを掲示し居心地よい空間である。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>思い思いの場所でくつろいでおられる。仲良しの利用者様同士が談笑できる場所となっている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族に協力してもらい、使い慣れたもので、自分らしい部屋づくりをしてもらいそれぞれ個性的な部屋となっている。</p>	<p>ベッド、洗面台、エアコンが設置してある。家から持ち込まれたタンス、洋服、暦、時計、ぬいぐるみ、位牌等が置かれて過ごしやすいように設営されている。居室入り口に車椅子使用者は表示されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内は整理整頓に努め、安全かつ自由に行動できるように気配りしている。ホールが広い分歩いて運動をされる利用者様もおられる。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない